

当面の技術対策（畜産編）

令和5年9月1日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部

1. サイレージ用とうもろこしの収穫はお早めに！

本年の積算気温は平年よりも高く、サイレージ用とうもろこしの黄熟期は14日早く進んでいます。さらに、「根腐れ病」が発生しており収穫の判断に注意が必要です。各ほ場の状況を確認し、早めに収穫作業の計画を立てましょう。

（1）収穫適期「黄熟期」の判断

黄熟期は子実表面の水分が抜けて爪で押さえてもつぶれづらい状態です。過熟になると実の消化が悪くなるため、登熟が進んだ場合は実が砕けるほどクラッシャーを強くかける必要があります。

（2）サイロの空き状況確認

草丈が平年よりも約12%長く、収量は多い見込みです。発酵品質の良いサイレージを確保するには鎮圧が重要なため、バンカーサイロの高積みは避ける必要があります。増収に対応するために、あらかじめサイロの空き状況を確認し、予備のスタックサイロ活用にむけて火山灰やシートの準備を検討しましょう。

2. 牛の寒暖差ストレスに注意

例年よりも気温が高く推移していましたが、これから寒暖差が大きくなります。牛の免疫力が低下しやすく、大腸菌性乳房炎やサルモネラ症の発生が懸念されます。予防のために衛生管理の徹底を心がけましょう（表）。

表 大腸菌性乳房炎とサルモネラ症予防のための衛生管理について

	衛生管理のポイント
大腸菌性乳房炎	<ul style="list-style-type: none">・ 乾乳牛舎と分娩房の除糞頻度を高める（過密時は敷料を増やす）・ おが粉と消石灰を使用3日以内に混和・ 牛床の石灰散布・ 乳房の毛焼き・ 乳頭清拭タオルの洗浄消毒・ 乳頭清拭の徹底（とくに乳頭先端）
サルモネラ症	<ul style="list-style-type: none">・ 乾乳牛舎と分娩房の除糞頻度を高める（過密時は敷料を増やす）・ 飼槽と水槽の清掃・ ほ乳器具の洗浄（ぬるま湯→アルカリ洗剤→酸性洗剤→殺菌剤）・ 牧場内の環境整備（ぬかるみ防止、石灰帯・踏み込み消毒槽の設置）